

# DIY スーパーダンセイ

## 標準施工仕様

工程	材料	割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
下地調整	下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイタンス、エアロは完全に除去し、含水率 10% 以下で (pH10 以下) に管理して下さい。豆板、欠け、不陸、目違いなどは、ダイカチオンファイラー、またはセメンシヤス#2000 等で平滑に補修して下さい。						
1	下塗り ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.10~0.15kg/㎡ 100~150㎡/缶	1	—	2時間以上	刷毛、吹付、中毛ローラー
2	主材 (下塗り) ダイヤスーパーダンセイロール主材 清水	20kg 0~0.6%	1.0~1.2kg/㎡ 17~20㎡/缶	1	—	5時間以上	多孔質ローラー
3	主材 (上塗り) ダイヤスーパーダンセイロール主材 清水	20kg 0~0.4%	1.2~1.4kg/㎡ 14~17㎡/缶	1	—	24時間以上	多孔質ローラー
4	上塗り (水系ウレタン) ダイヤパーマルウレタン 清水 エアレス 刷毛、ローラー	16kg 1.0~2.0% 0.5~1.5%	0.25~0.35kg/㎡ 46~64㎡/缶	2	2時間以上	—	刷毛、中毛ローラー、エアレス
	上塗り (水系シリコン) ダイヤパーマルシリコンマイルド 清水	16kg 0.8~1.6%	0.25~0.35kg/㎡ 46~64㎡/缶	2	2時間以上	—	刷毛、中毛ローラー、エアレス
	上塗り (水系シリコン) ダイヤパーマルシリコンD 清水	16kg 0.8~1.6%	0.25~0.35kg/㎡ 46~64㎡/缶	2	2時間以上	—	刷毛、中毛ローラー、エアレス
	上塗り (弱溶剤系シリコン) ダイヤ2液ナチュラルシリコンD A液 B液 ダイヤシンナーN エアレス 刷毛、ローラー	12kg 2kg 1~2% 0~1%	0.25~0.35kg/㎡ 40~56㎡/缶	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛、中毛ローラー、エアレス
	上塗り (弱溶剤系フッ素) ダイヤナチュラルフッソ A液 B液 ダイヤシンナーN エアレス 刷毛、ローラー	14kg 2kg 1.5~5.5% 0~4%	0.25~0.35kg/㎡ 46~64㎡/セット	2	4時間以上 7日以内	—	刷毛、中毛ローラー、エアレス
	上塗り (水系無機) ダイヤスーパーセラフレックス A液 B液 清水 エアレス 刷毛、ローラー	14kg 1kg 0.8~1.6% 0.5~1.0%	0.25~0.35kg/㎡ 45~64㎡/セット	2	2時間以上	—	刷毛、中毛ローラー、エアレス

※溶剤系シーラーについては別途ご相談下さい。  
 ※乾燥時間は、温度23℃、湿度50%の場合です。冬期、夏期では、温度、湿度によって乾燥時間にかんがりの差異がありますので注意して下さい。  
 ※公共建築改修工事標準仕様書(令和4年度版)4章7節「外壁用塗膜防水材料による改修に記載されている「下地準動緩衝材」の取扱いはございません。

## 包装単位

ダイヤワイドシーラー ..... 15kg缶  
 ダイヤスーパーダンセイロール主材 ..... 20kg缶  
 ダイヤパーマルウレタン ..... 16kg缶  
 ダイヤ2液ナチュラルシリコンD ..... 14kg (A液:12kg/B液:2kg) セット

ダイヤパーマルシリコンD ..... 16kg缶  
 ダイヤナチュラルフッソ ..... 16kg (A液:14kg/B液:2kg) セット  
 ダイヤスーパーセラフレックス ..... 15kg (A液:14kg/B液:1kg) セット  
 ダイヤシンナーN ..... 16%缶  
 ダイヤパーマルシリコンマイルド ..... 16kg缶

## 施工・管理上の注意

- 【塗膜面の調整(新設)】**
- ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタンス等を完全に除去して下さい。
  - ②セメント質下地は、表面の含水率10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
  - ③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
  - ④PCパネル、現場打ちコンクリートの場合
    - 1)豆板、木口、破損箇所、不陸などは、セメンシヤス#2000、セメンシヤス#2500等の下地調整材を使用し、補修して平滑にして下さい。
    - 2)表面が織でレイタンス層がある場合は、レイタンスを除去し、ダイヤシーラーエをご使用下さい。
  - ⑤ALCパネルの場合  
ダイカチオンファイラーを塗布して下さい。
- 【塗膜面の調整(改修)】**
- ①各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行って下さい。
  - ②塗膜層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
  - ③チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
  - ④既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には、高圧水洗後、ダイヤシーラーエまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
- 【材料の保管・管理】**
- ①開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
  - ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- 【施工】**
- ①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を遅けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は(雨)養生して下さい。
  - ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。割合配合を誤りませぬ。成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
  - ③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行わない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと既が残りたりとなります。
  - ④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
  - ⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
  - ⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
  - ⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
  - ⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、表面に残る場合があります。
  - ⑨本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
  - ⑩希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄過ぎるときれいに仕上ることがあります。特に薄過ぎるとのり込みが強い場合等は少なめに希釈して下さい。
  - ⑪常に結露が発生する地域、時期での施工は避けて下さい。
  - ⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
  - ⑬一度に厚く塗ると色分けや発泡が発生することがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
  - ⑭塗膜下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
  - ⑮フッ素系や無機系などの難接着塗膜処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。
- 【安全衛生上の注意】**
- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
  - ②取扱後は、手洗いやうがいを行うに十分に行って下さい。
  - ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
  - ④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
  - ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
  - ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
  - ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
  - ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
  - ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
  - ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 【その他】**
- ①その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
  - ②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
  - ③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

(25.3月現在)25.3 SJ